

福井大学(学部入学定員:855人、大学院入学定員:379人)  
[取組学部・研究科等: ○工学部(525人), 工学研究科(275人)]

### 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

歴史や文化が異なる地域においても、世界の人々と協働して生き生きとした暮らしづくりに貢献できる高い専門能力と創造力・実践力を有した技術者「Global IMAGINEER」の育成を目的とする。

【構想の概要】①「実践的グローバル人材育成プログラム」の開発と実施 ②「語学センター」による実践的英語教育の実施 ③国際的通用性を持つ教育課程の実現。この3本柱を核として、工学部・工学研究科を中心に21世紀グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成し、国際的にも通用する質の高い教育の実施を目指す。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

平成28年度開設の国際地域学部にて先行導入した米国型の13段階成績評価制度、GPA制度、ナンバリング、CAP制等の国際通用性のある教務システムを全学的に波及させるため、「全学教育改革推進機構」を中心に検討・調整を進めている。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

海外派遣学生、外国人留学生向けの教育情報を大学ホームページに統合して充実させ、多言語化を進めている。英文の大学パンフレットも一新し、国内外への情報発信体制を整備した。

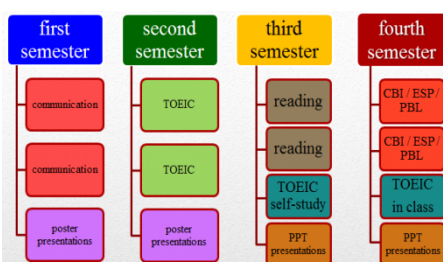
### ○ 事務体制のグローバル化

教育システム改革に関するFD/SDシンポジウムの開催、海外大学のベンチマーキングや学術交流協定締結に係る協議への若手職員の同行等により、事務職員の意識改革に取り組んだ。



(新ホームページ:国際交流)

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成



(改訂後の英語科目カリキュラム体系)

### ○ 実践的グローバル人材育成プログラム

平成27年度には、40の短期海外研修プログラムに延べ203名の日本人学生(全学部)が参加した。そのうち、20プログラムは工学分野に特化した内容で、65名の日本人学生が参加した。大学院生向けには3~6カ月の中長期のプログラムも提供するなど、各学生が段階的に自身のレベルやニーズに合った研修に参加できる体制を整えている。

### ○ 実践的英語教育

これまでの実績を踏まえ英語科目のカリキュラムを改訂し、学年や学期毎に異なるコミュニケーションの場面やスキルに重点を置いた授業を行った。また、ESP教育の一環として、PBL(課題解決型学習)授業を工学部4学科で開講し、受講生は英語力に加え市場調査や分析能力、プレゼンテーション能力、チームワークなど、幅広いスキルを培った。

### ○ 国際通用性を持つ教育課程

国際地域学部にて先行導入した新たな教務システムについて、日本語・英語の履修手引きとしてまとめ、学習支援体制を整備した。平成27年度後期からは、オンライン学習支援システムの運用を全学的に開始し、学習管理や支援体制を一層強化した。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一體的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

学部入試の一部で、英語の長文読解及びショートエッセイを課しているほか、英語による面接試験を継続実施している。平成27年度からは、TOEFL iBT100以上のスコアとセンター試験(外国語)結果の読み替えにより、外国語力の適切な評価を行っている。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

語学センター教員による実践的英語教育に加え、長期休暇中の集中講義、外部講師によるTOEIC集中セミナー等を実施している。また、海外大学の講師による講演会の開催により、国際的な視野の養成や語学学習への意識向上を図っている。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

英語のPBL(課題解決型学習)授業にて英語ネイティブ教員と工学部の日本人教員が協働することにより、双方の教育力の向上に繋がった。平成28年度後期からは人文社会系の英語開講科目を拡大し、教育体制のさらなるグローバル化を図る。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

若手教員を対象に、海外大学のベンチマーク調査のための米国派遣やサバティカル研修制度による欧州派遣を行った。平成27年5月には、大学院工学研究科専任教員対象の海外短期研修(2カ月以内)制度を制定し、教育力向上の機会を拡大した。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

在学中に短期海外研修プログラムへの参加や交換留学を計画的かつ段階的に検討できるよう、新入生オリエンテーションにて本学の留学制度や全学生対象の短期海外研修プログラムの案内を行っている。また、欧米・アジア圏の学術交流協定校の拡大(平成27年度は13の大学・機関と協定締結)及びUMAP加盟により、交換留学や短期研修による学生の派遣先を充実させている。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

学生が加入する海外旅行傷害保険および購入代理店の一元化や、受入先大学担当者の緊急連絡先の一元管理等により、学生が留学先に到着してから帰国するまでの危機管理・サポート体制を国際課を中心に整備し、緊急時の対応に備えている。

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

産業界が求める、国際的な事業で活躍できる英語力に基づき、卒業時に修得すべき外国語力スタンダードをTOEIC750点またはTOEFL PBT550点と設定する。英語力に加えて、東アジアまたは東南アジア1カ国の言語において初級程度の到達を目指す。また、グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材育成を目的として、学生の卒業・修了時には、①創造力、②自己学習力、③問題解決能力、④教養・専門的知識、⑤コミュニケーション能力の修得を目指す。

**本構想において実現する達成目標及び実績**

全 学		達成実績					達成目標
		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				2人	2人	5人	50人
うち海外留学未経験者数 (A)				2人	1人	1人	25人
海外留学経験者数 (B)		16人	33人	43人	60人	84人	60人
卒業[予定]者数 (C)		555人	556人	548人	534人	554人	555人
比率 ((A+B)/C)				8.2%	11.4%	15.3%	15.3%
工 学 部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC750またはTOEFL PBT550		2人(2人)	2人(1人)	5人(1人)	50人(25人)
	海外留学経験者数	16人	33人	43人	60人	84人	60人
	3カ月未満	16人	33人	43人	58人	83人	55人
	3カ月～1年	0人	0人	0人	2人	1人	5人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	555人	556人	548人	534人	554人	555人

※1) 学部数が多く、本表が1頁以内に収まらない場合は、「海外留学経験者数」の期間別内訳を省略してもかまわない。

※2) 「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※3) 上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。